気づきの中に、たくさんの疑問もありました。この疑問を解決するために、９月 ８ 日(金)に美浜町役場農林水産建設課の職員の方を お招きして、「煙樹ヶ浜松林」について講義をしていただきました。
「煙樹ヶ浜松林」の歴史や松の種類、松の本数、松林を守る活動、松葉の活用など、たくさんのことを教えていただきました。

(出前講座の様子)

―「煙樹ヶ浜松林」出前講座で教えていただいたこと(抜粋)―

・松林の歴史･･･紀州初代藩主徳川頼宣公の時代(1619年頃)にはすでに「御留山」として、伐採が禁じられ、保護されていた。少なくとも 400 年以上の歴史がある。
・美浜町の「煙樹ヶ浜松林」にある主な松の種類･･･ベイマツ・アカマツ・クロマツ
・松葉の活用･･･松葉を堆肥として活用し、「松キュウリ」「松トマト」「松いちご」を栽培。
松林の保全と農作物のブランド化による地域農業を目指す取り組みをしている。
・煙樹ヶ浜松林･･･「21世紀へ引き継ぎたい日本の白砂青松100選」や「2 1世紀へ引き続きたい日本の名松100選」に選ばれている。また、「21世紀に残したい紀伊半島の自然100選」にも選ばれている。

など

特別号

みはま 広報

生まれ育った私たちのふるさと「美浜町」について学習しました
学びのなかでの疑問やふるさとをよりよくしたいという想いを
美浜町子ども議会に登壇し、町の執行部に伝えてきました!!!

「煙樹ヶ浜松林」 清掃活動

「煙樹ヶ浜松林」の出前講座の結びに職員の方が、「江戸時代から人々の暮らしを守ってきてくれた松林。これからも守り育てていきましょう。『こんなすばらしい松林が自分たちの町にはあるんだ』と自慢できるように」と言ってくれました。その言葉を受けて、私たちは「煙樹ヶ浜松林」のためにできることがないかと考えました。真っ先に思い浮かんだのが、「漂樹ヶ浜松林」の清掃活動でした。
９月 20 日(水)に「煙樹ヶ浜海岸」、９月 28 日(木)に松洋中学校周辺の「松林」の清掃活動を行いました。ペットボトルやお菓子の袋、プラスチックのゴミなど、私たちが想像していたよりもゴミの量が多かったです。なかでも驚かされたのが、「煙樹ヶ浜海岸」の清掃活動の時に見つけた、外国語表記のゴミでした。「違い外国からもゴミが漂流するのか」「海洋生物が間違って食べてしまうのではないか」と驚きを隠せませんでした。
少しでも町をきれいにするために、再度ゴミが流されてしまって海洋生物の生命に危険が及ばないように、私たちは懸命に清掃活動を行いました。

(煙樹ヶ浜海岸の清掃活動の様子)

(松洋中学校周辺の「松林」の清掃活動の様子)

美浜町について

美浜町は、和歌山県のほぼ中央部、日高川河口右岸から海岸線に沿って展開する町で北及び北西は日高町、東は御坊市に接し、南は黒潮おどる太平洋に、西は紀伊水道をへだてて四国徳島をのぞむ瀬戸内海の南の入り口となっています。
東西約９キロメートル、南北約2.5キロメートル、面積12.77平方キロメートルの町で、面積では和歌山県下で太地町に次いで狭い町であります。
太平洋に面する砂州海岸には、全長約4.5キロメートル、幅最大500メートルの近畿最大の松林「煙樹ヶ浜（えんじゅがはま）」があり、大正末年にこの地を訪れた近衛篤一郎画伯が、霊煙模糊たる春汀と青松の景観を見て、この名前をつけたと言われています。

総合的な学習の時間での学び

私たち松洋中学校３年生は、来年の３月に９年間の義務教育を終え、それぞれの道を歩んでいきます。これまで共に過ごしてきた仲間達とのかけがえのない時間を支えてくれた「美浜町」のために恩返しをしたいという想いから、「ふるさと学習」の一環で「美浜町」について学習しました。
まず、「美浜町」のシンボルである「煙樹ヶ浜松林」について、知っているようで知っていないこともあるのではないかということで、新たな発見をするために松洋中学校周辺の松林を散策しました。気づいたことや、今後私たちにできることをグループで話し合い、共有しました。後日、美浜町役場農林水産建設課の職員の方をお招きして、「煙樹ヶ浜松林」について講義をしていただきました。
次に「煙樹ヶ浜松林」についての学びを受けて、自分たちにできることを考えました。そして、「煙樹ヶ浜松林」の清掃活動が意見として挙がったので、「煙樹ヶ浜海岸」の清掃活動を行いました。
最後に、「煙樹ヶ浜松林」の講義や清掃活動、そして、これまで過ごしてきた生活の中で感じていた疑問やふるさとをより良くしたいという想いを、美浜町役場のご協力をいただき、「美浜町子ども議会」に登壇し、町の執行部の方々に伝えてきました。

「美浜町子ども議会」

「煙樹ヶ浜松林」の散策や出前講座、清掃活動などの活動を通して、美浜町のシンボルである「煙樹ヶ浜松林」を私たち自身が守り続けていかなければならないと思いました。これからも私たちの成長を支えてくれる美浜町。約１ヶ月の活動を通して、このかけがえのないふるさとを、より良くしたいという想いが芽生えました。しかし、「美浜町をこうしたい」という想いはあっても、私たち中学生にできることには限界があると感じました。
そこで約２ヶ月の期間をつかって、「美浜町をこうして欲しい」「美浜町のこの部分はどうなっているのか？」など要望や質問を短く綿密に話し合い、まとめました。
そして、11月22日(水)に美浜町役場のご協力をいただき、「美浜町子ども議会」に登壇し、町の執行部の方々にまとめ上げた要望や質問を伝えてきました。
次のページからは、1組と２組でそれぞれ６個ずつ、合計で12個の要望や質問を記載しております。

(美浜町子ども議会の様子)

「煙樹ヶ浜松林」 散策 ＆ 出前講座

８月 31 日(木)、3 年生の「ふるさと学習」がスタートしました。まず、先生から「松洋中学校の周辺をみんなで散策してみよう!!」と言われました。聞いた直後は、「え?なんて?」「外歩くの暑いよ～」等といった意見が飛び交いましたが、その後、先生から「松林を見て気づいたことを話し合って、発表してもらいます」と言われ、疑問が興味に変わりました。

(松林散策の様子)

教室に戻って、早速松林を散策して気づいたことを話し合い、共有しました。話し合いの中で、次のような意見が出ました。

―松林の散策で気づいたこと―

・松林の道路全体が暗かった。影が多いと思った。
・何でこんなに松の木を植えようと思ったのか？
・風がﾋﾕｰ地よい。影があるから涼しい。
・ゴミのポイ捨てがあった。
・松の木の切り株に「R4.2.27」と日付が書いてあった。
・松の木の長さ太さがそれぞれ違った。
・道路の落ち葉・枝を掃除してくれているのは誰だろう？
・松林の中に入らないようにチェーンをしている。

など

(話し合いの様子)